使い方の資料

発想AIの使い方

ニーズを登録してから、案を形にして保存するまで

画面の写真は、見本のデータで撮ったものです。

発想AIでできること

- 困っていること（ニーズ）を登録すると、AI が解決の案を考えます。
- BASIC では案の全体像を1回で作り、PRIME では項目ごとに深めて確定しながら進めます。
- 案の絵を作り（イメージ発想）、Word や PDF で保存できます。
- 資料を読ませて、自分用の AI と話せる「プロジェクトブレイン発想AI」もあります。

BASIC と PRIME の違い

	BASIC	PRIME
向いていること	案の全体像を1回で見る	項目ごとに深め、確定しながら進める
作り直し方	「もう１回！」で全体を作り直す	項目ごとに「作り直す」「確定する」
進め方	1つの画面に案が並ぶ	5つの段階（開発の背景〜伝える）を順に進める

使える人と回数

- 案を作る（発想する）のは、サブスク会員（トライアル中を含む）です。作った案は、作った人と共有された人が見られます。
- 料金：AIアドバンスド 3,300円/月 税込
- イメージ発想の回数は1か月に、個人のご契約で 50 回、トライアル中は 15 回、会社でのご契約は 200 回までです。毎月1日に戻ります。

この資料の流れ

1　ニーズを登録する

「＋ ニーズを登録」を押します
題名と困りごとを入れて「登録して発想へ」を押します
BASIC か PRIME かを選びます

2　BASIC で案を1つ作る

AIが考えた案が表示されます
右の「この案でできること」から次の操作を選びます
「もう１回！」で、方針を選んで作り直せます
「イメージ発想」で、案の絵を作ります
右上の「PRIME」に切り替えます

3　PRIME で項目ごとに深める

左の「発想の流れ」で段階の名前を押して、5つの段階を順に進めます
段階の中の項目の名前を押すと、その項目へ移ります
内容を見直して、項目名の右の ①作り直す か ②確定する を押します
「この項目の版」で、前の版に戻せます
段階の最後で「次の段階へ」を押します

4　ものづくり技術の使いどころを探す

使いどころを探す分野を選びます
技術を選ぶと、使いどころの案が並びます
「おしえて!!」で、新しい案を考えさせます

5　保存する

①「PDF で保存」か ②「ファイル出力」で保存します

6　プロジェクトブレイン発想AIと話す

資料を置くと、新しいブレインで話し始めます
①質問を入れるか ②候補を押して、ブレインに聞きます
作るものの候補から、開発コンセプトにします

1

ニーズを登録する

画面 3 枚

「＋ ニーズを登録」を押します

発想AIのニーズの一覧です。困っていること（ニーズ）を登録すると、ここに1行ずつ並び、最近さわったものが上に来ます。PRIME で確定した項目の数（n / 22）も、この一覧で分かります。

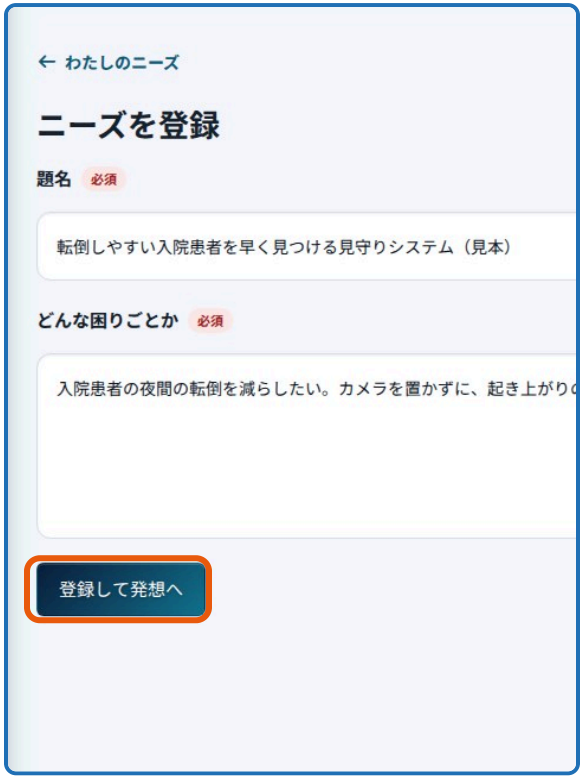




題名と困りごとを入れて「登録して発想へ」を押します

困りごとは1〜2行でも大丈夫です。あとから書き直せます。





BASIC か PRIME かを選びます

登録すると、この画面に移ります。まず全体像をつかむなら BASIC、項目ごとに深掘りするなら PRIME です。あとから切り替えられます。





2

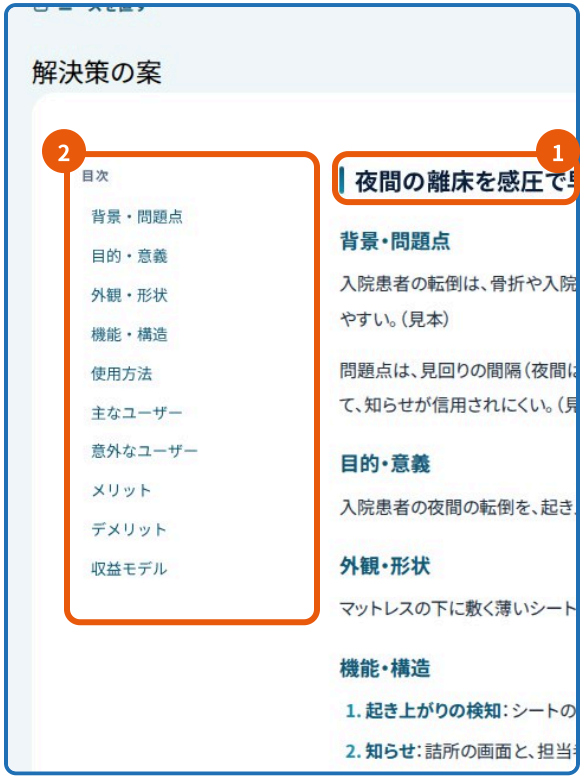
BASIC で案を1つ作る

画面 5 枚

AIが考えた案が表示されます

①が案の名前です。背景・問題点から、目的・形・機能・使い方・使う人・収益の考え方まで順に並びます。②の目次を押すと、その見出しへ移ります。





右の「この案でできること」から次の操作を選びます

もう１回！・イメージ発想・履歴表示・PRIMEでもっと深く が並んでいます。

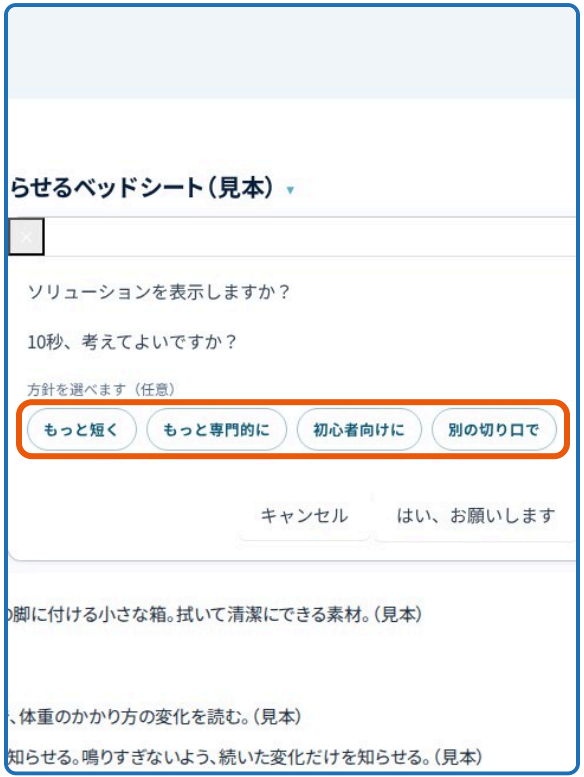




「もう１回！」で、方針を選んで作り直せます

もっと短く・もっと専門的に・初心者向けに・別の切り口で から選び、「はい、お願いします」を押します。選ばなくても作り直せます。





「イメージ発想」で、案の絵を作ります

①「発想する」を押すと絵ができます。②今月あと何回作れるかが表示されます。





右上の「PRIME」に切り替えます

PRIME では、案を項目ごとに深めていけます。





3

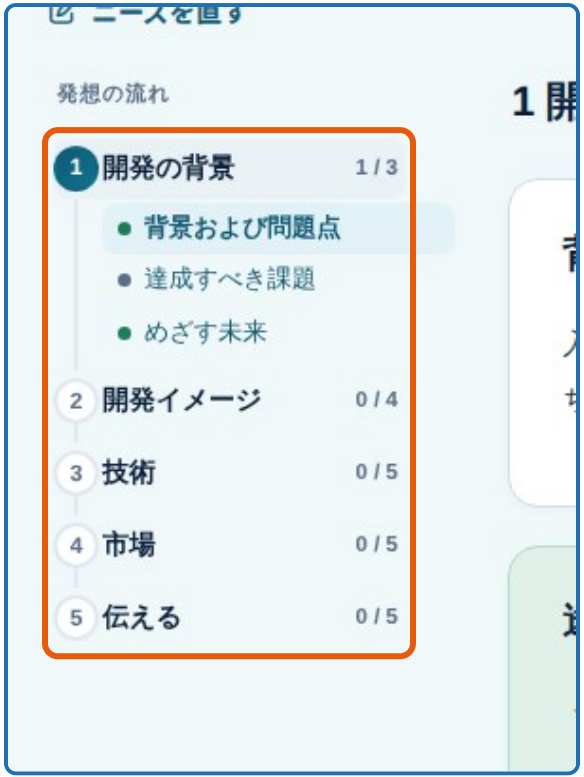
PRIME で項目ごとに深める

画面 5 枚

左の「発想の流れ」で段階の名前を押して、5つの段階を順に進めます

開発の背景 → 開発イメージ → 技術 → 市場 → 伝える。「1 / 3」は、3つの項目のうち1つを確定したという意味です。

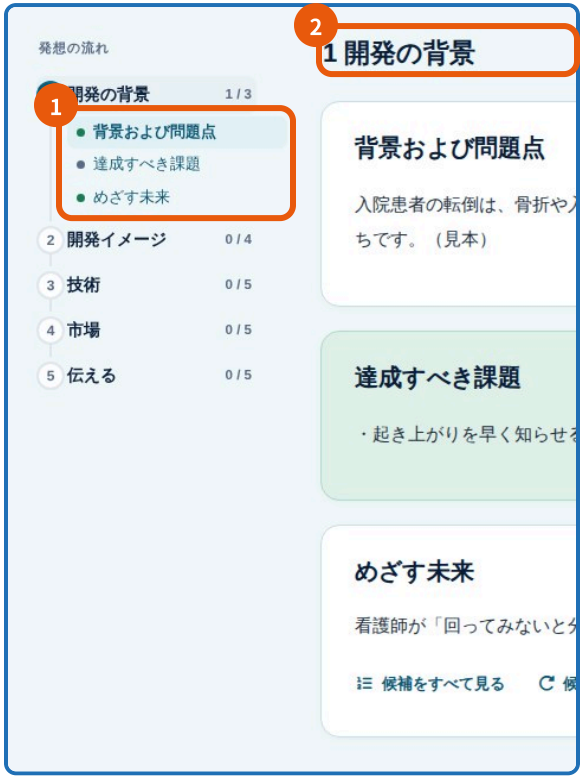




段階の中の項目の名前を押すと、その項目へ移ります

本文の上には、いまの段階の名前が出ます。全体で確定した数は、ニーズの題名の右に出ます。





内容を見直して、項目名の右の ①作り直す か ②確定する を押します

確定した項目は、まとめて発想しても書き換わりません。確定は「確定を解除」で戻せます。





「この項目の版」で、前の版に戻せます

作り直すたびに版が残ります。使いたい版の「これを採用」を押すと、その版が本文になります。

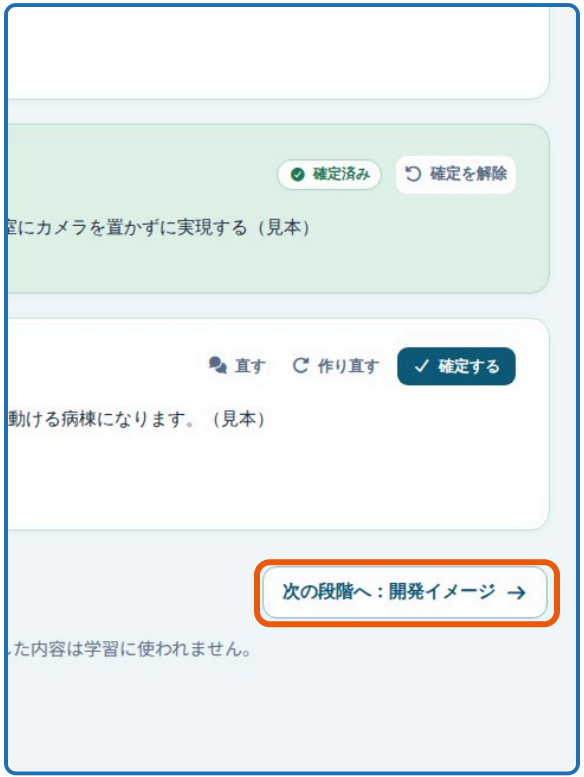




段階の最後で「次の段階へ」を押します

その段階の項目を見終えたら、次の段階の最初の項目へ移ります。





4

ものづくり技術の使いどころを探す

画面 3 枚

使いどころを探す分野を選びます

医療機器・手術・リハビリなど、分野ごとにまとまっています。分野を押すと、その分野で技術の使いどころを探す画面に移ります。

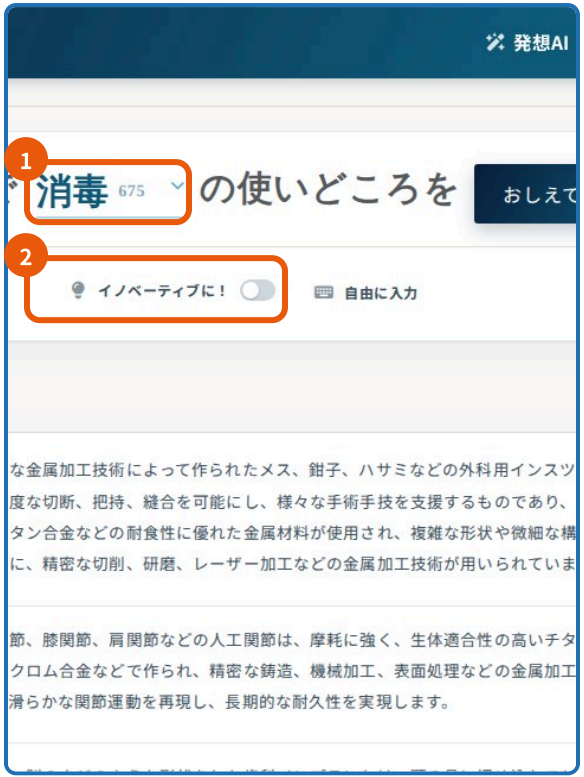




技術を選ぶと、使いどころの案が並びます

①で技術を選びます。これまでに出た案は、選ぶだけで読めます。新しい案を考えさせるときは「おしえて!!」を押します。②を入れると、今までにない使いどころを考えさせられます。





「おしえて!!」で、新しい案を考えさせます

AI がこの技術の新しい使いどころを考えて、一覧に足します。気になった案は「コンセプトにする」で、コンセプト発想AIのニーズになります。





5

保存する

画面 1 枚

①「PDF で保存」か ②「ファイル出力」で保存します

「PDF で保存」は印刷の画面から PDF に保存します。「ファイル出力」では Word か PDF のファイルを選べます。





6

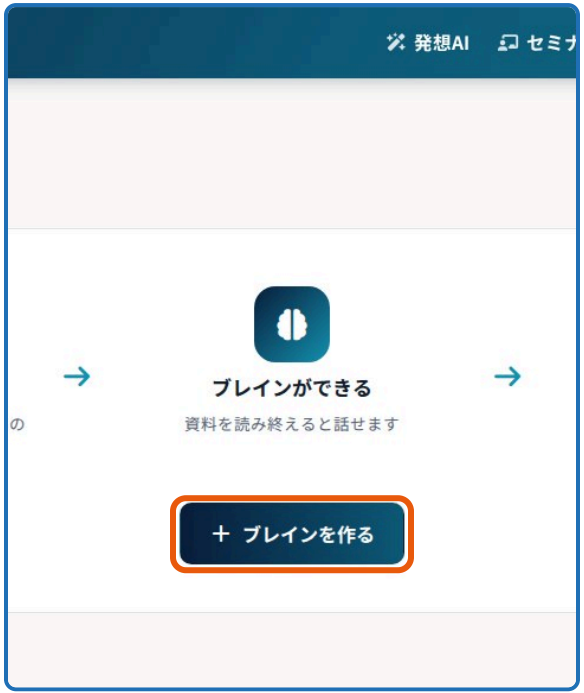
プロジェクトブレイン発想AIと話す

画面 3 枚

資料を置くと、新しいブレインで話し始めます

PDF・Word・PowerPoint・Excel・テキストのファイルか、ページの URL を置きます。読み終わると、ブレインの画面が開きます。名前は最初の資料の名前から付きます。

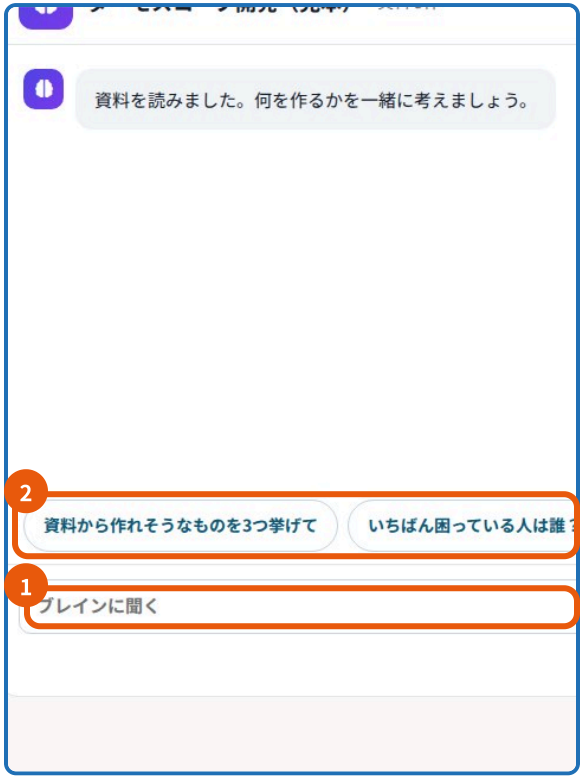




①質問を入れるか ②候補を押して、ブレインに聞きます

左に資料、真ん中に会話、右に作るものの候補が並びます。資料のチェックを外すと、その資料を答えに使いません。1か月に 30 回までは無料で、超えると1回 5 CP を使います。

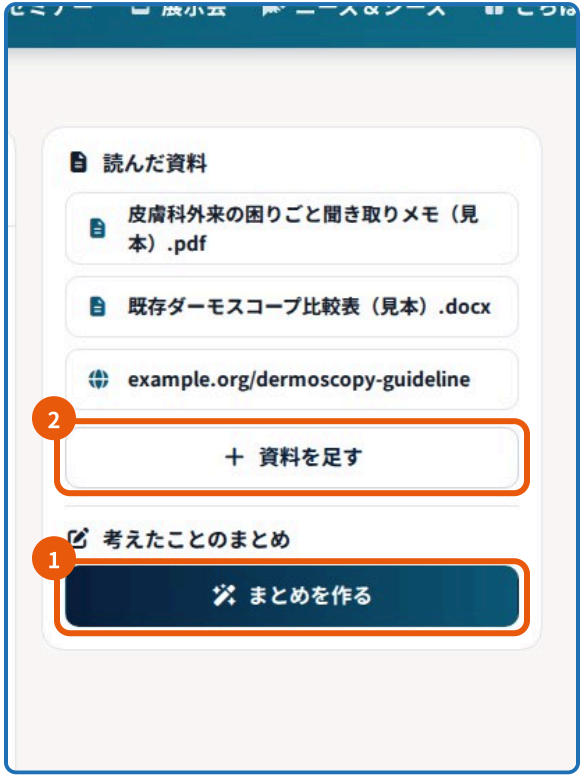




作るものの候補から、開発コンセプトにします

答えの「候補に入れる」で右の欄に並びます。候補ごとに理由・根拠の資料・次に確かめることが付き、「開発コンセプトにする」でコンセプト発想AIへ進めます。





保存したもの

- 「ファイル出力」の Word と PDF には、画面に出ている案が、見出しと目次つきで入ります。
- 「PDF」のボタンは、いま画面に出ている案を印刷の画面から PDF に保存します。

困ったときは

- 画面の右上の「i 説明」で、その画面の使い方を見られます。
- 画面の下の「お問い合わせ」から、担当者に問い合わせられます。
- この資料の最新版は、https://cpk.jp/manual/idea-ai で見られます。